



NPO PTPL “ともいき” 便り No.71

平成 27 年（2015 年）3 月 6 日発行

■啓蟄（けいちつ） 3 月 6 日から 3 月 20 日までの節気

「啓」は開く、「蟄」は虫が冬ごもりをするという意味です。土の中で冬を越してきた虫たちが、太陽の暖かさを感じて姿を現すころです。ナズナやハコベ、タンポポ・・・散歩道に春の気配！木の芽もぷっくりふくらみ始めます。またこの時期は、哺乳類や爬虫類、両棲類も冬眠から覚めて出てきますので、「熊穴を出る」「蛇穴を出ず」といった別の季語もあります。

啓蟄の言葉は『延喜式』にも出てきます。

※延喜式（えんぎしき）とは、平安時代の法令集として平安時代中期に編纂された格式（律令の施行細則）で 50 巻あります。三代式（弘仁格式、貞観格式、延喜格式）の一つで、完全な形で残っているのは延喜式だけだそうです。

延喜 5（905）年、左大臣藤原忠平らが醍醐天皇の命令により編集。延長 5（927）年完成。『弘仁式』『貞観式』をはじめ、古代政府の根本法令を補う形でその後発布された施行細則を集大成したものです。

3 月に入ると、町を歩いていても、日差しが日に日に強くなり柔らかな日の光を感じます。さらに日の光に照らされる木々の緑も濃くなっています。このような日の光を季語では「春光」といい、春の訪れという期待感と躍動感を感じます。

啓蟄の節気期間中の 1945 年 3 月 10 日は「東京大空襲」のあった日です。この日の未明、アメリカ空軍の B29 爆撃機、おおよそ 300 機が東京都内を大空襲。死者は約 10 万人、消失家屋は約 25 万戸におよび、東京の下町一帯が焦土と化しました。この日の空襲だけでも罹災者は 100 万人を超えたといわれています。

東京都は、この日を忘れないため、戦争の惨禍を繰り返さないことを誓って、都民一人ひとりが平和を考える日として 1990 年に、この日を「東京都平和の日」

と決めました。

おりしも、今年には終戦70周年です。村山、河野談話の見直しなどささやかれています。政治的な話はよくわかりません。しかし、空襲としては史上最大規模の都市部を標的とした無差別爆撃による民間人（非戦闘員）に大きな被害を被ったことは事実です。戦った兵士だけでなくこうした一般市民の犠牲の上にいまの日本国の繁栄があることを忘れてはならないと思います。

東京都墨田区役所1階には折り鶴で描かれた壁画「平和のオブジェ」が飾られた。墨田区は空襲で甚大な被害を受けた地域で、92年から毎年平和を祈念して壁画を展示されています。

オブジェは高さ約13メートル、幅約7メートル。今年のテーマは「東京大空襲から70年 語り継ごう平和の思いを次世代へ」で、ボランティア約15人が花や折り鶴などを描いているとのこと。さらにすみだ郷土文化資料館では、改めて平和の尊さを確認するとともに戦争の悲惨さを風化させないように、企画展「東京大空襲・七十年」が5月17日まで開催しています。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

●桜

サクラといえば春、春といえばサクラと思うのが常ですが、日本では一年中、どこかでサクラの花が咲いているといっても過言ではありません。早くも1月のうちに咲くカンヒザクラから北海道など雪解けを待って遅く咲くタカネザクラなどがあり、それ以外に、秋から冬にかけて咲くサクラもあります。

サクラは自然が日本人にくれた大切なプレゼントです。大切にしましょう。(日本のサクラには10種の野生種があり、そのほか自然的な交配や人為的交配によりつくられた栽培品種が300種ともいわれています。)

●河津桜

東京周辺では最も早く咲く(2月上旬ごろ 立春から雨水の節気にかけて)ことから早春の風物詩となっている河津桜、毎年、テレビのニュースでは河津桜の開花の様子を知らせてくれます。

1950年頃、伊豆半島で見つけられた若木が河津町の民家に植えられ、これが

広まり、河津桜と呼ばれるようになりました。現在は河津川畔を中心に 8,000 本以上が植えられているようです。

河津桜の開花情報が流れた後、2 月中・下旬には全国の桜の開花予想が発表されます。

●染井吉野

①かつて桜といえばヤマザクラを指しましたが、明治以降、特に戦後はソメイヨシノを指すようになりました。なぜなら、この品種は若木のうちから花が付き、成長が早く、学校、公園、街路など新たに植えるサクラのほとんどがソメイヨシノになったからです。

私たちがサクラをイメージするときの花は、このソメイヨシノでしょう。(現在、日本に咲くサクラの 7~8 割はソメイヨシノといわれています。)

また、東京市が寄贈したワシントン・ポトマック河畔のサクラも、気象庁、気象情報会社による開花宣言やサクラ前線の基準もソメイヨシノです。(ソメイヨシノは接ぎ木、挿し木で増やされ、すべてがクローン(同質遺伝子)です。そのため花や葉が同じで、同一条件下では開花日も同じという特質があるので、全国的な標準木として最適なのです。)

②ソメイヨシノがいつ生まれたか正確な記録はありませんが、幕末、江戸染井村(現在の東京・巣鴨近辺)の植木屋が開発して売り出したといわれています。近年はどこの町や村でもサクラの名所があり「桜まつり」が行われていますが、戦後の名所のほとんどがソメイヨシノ一色に染まっています。しかしヤマザクラを良しとする人もとても多いのですが、いまや日本全国ソメイヨシノに埋めつくされた感じです。ただ、ソメイヨシノの欠点は寿命が短いこと(最長でも 100 年程度)、そして病虫害に弱いことです。

③ソメイヨシノとヤマザクラの違いは、ソメイヨシノはまず花だけが咲いてその花が散った後、緑の若葉が萌えだしますが、ヤマザクラは花が咲くと同時に若葉が芽吹きます。花の色を見てもソメイヨシノは薄紅ですがヤマザクラは白。しかしヤマザクラは花と同時に出る若葉の色が木によって緑からえんじ(黒みを帯びた赤色)までいろいろあるので、同じヤマザクラといっても若葉の色と交じり合っささまざまな色合いを見せます。

ヤマザクラは野生の桜であり、ソメイヨシノは純粹に花だけを觀賞するために作り出された人工品種なのです。今年の東京の開花が 3 月 21 日~26 日。北

海道が5月に入ってからということです。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●今年の桜開花予想は『平年並みか早く』咲く所が多いようです。2月の気温は北日本で高く、そのほかの地域で平年並みかやや高めとなりました。3月も同じような傾向ですが、西日本を中心に3月中旬に気温が高くなる時期がありそうです。このため、桜の開花は平年並みか早くなるでしょう。なお、今年の桜前線は、高知からスタートする可能性が高くなっています。(ウェザーマップ発表より)

●お知り合いの方で「ジャパネスク」の考え方、在り方について興味のある方にご紹介・ご案内いただき同志を募り、そしてそこから生まれる様々な展開アイデアを反映できればと願っております。そのためにも、是非とも、「ジャパネスク」のサイトをご覧ください。「ジャパネスク」のサイトアドレスは <http://japanesque.tokyo/>です。内容は順次広く深くしていく予定です。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

■お問合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp